

IHI 愛知死亡事故2周年 「孫請けでも泣き寝入りしない」

無念を再発防止に託す

「釜社長、いまだに、あなたは関係ないと言って繕書一本もあげに来ません。…下請けであっても全員が安心して働ける職場を創るために経営の改善を是非実行してください」

昨年6月の株主総会では、死亡した山高聡一さんのお母さんは、IHI社長への訴えを支援の株主に託し、誠意ある解決を強く迫りました。

IHIは昨年10月に事故の再発防止策を示し、今年の株主総会の直前に首脳が遺族宅を平問しました。また再発防止策の実施状況を8月21日に立ち入り確認することになりました。

さらに、今年の株主総会では、いまだ頻発している重大事故を重く受け止め、遺族と約束した再発防止策を全事業所に周知徹底することを表明しました。

孫請け2青年が死亡

事故概要 排気装置ないまま塗装指示

07年8月、IHI愛知事業所造船部門(当時ISA)で塗装作業中に爆発事故が発生。孫請け会社の李尾龍(龍)さん(20歳)、遺族は18歳妻・1歳長男と両親と山高聡一さん(22歳、遺族は両親と弟妹4人)が死亡しました。IHI(当時ISA)が排気装置を設置しないまま作業を命じたことが原因でした。職長、担当課員、下請職長などに業務上過失致死傷等の刑が下されました。2青年の遺族、同僚、IHI労働者などが立ち上がり、IHI社長の謝罪、原因究明・再発防止策確立、完全なる賠償を求めて、交渉が続けられました。

約束された再発防止策

- (抜粋)
- 換気指示書による必要換気量・台数の明確化
- ガス検知器と表示板の設置とガス警報器の導入検討
- 防塵型照明員の使用を徹底
- 火気厳禁区域を①縄張り表示②蔽門看板に掲示
- 塗装グレート作業開始確認(O Kボード)およびグレートチェックシートの改良・運用改善
- 混在防止会議の改善①塗装G主催に②溶接との混在撲滅③議事録に全作業を明記④会議内容を未端まで周知(蔽門看板に掲示)
- 塗装作業通知表①対象を船内外全塗装エリアに拡大②蔽門看板に掲示
- 請負業者へ安全衛生教育を強化、および請負業者の安全管理状況を把握し指導を強化

042-451-0472 労災隠し・涙金 あきらめないで電話を(相談無料・秘密厳守)

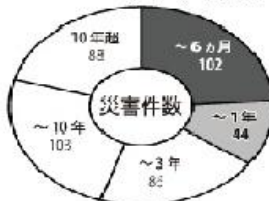
重工産業労働組合 明るい職場と平和をめざす IHI 連総会 【09年7月】〒653-0036 神戸市長田区腕塚町 2-1-26 神戸平和と労働会館(内)tel&fax 078-611-3114

安定雇用は安全・品質高める

減らぬ死亡災害 勤続1年未満が最多

事故は危険な仕事を押し付けられる下請け(協力社員)に集中しています。なかでも、勤続1年未満が34.5%を占めており、経験不足が原因とされています。必要なら安全配慮や安全対策を元請けの責任で完全実施すべきです。

勤続年数別休業災害件数 (H6～19 協力社員)



資料: 全国造船安全衛生対策推進本部 (08年7月)

また勤続が短いのは、労務費の削減のために正社員を減らして期間社員を多用し、入れ替えが激しくなっているからです。安全は品質につながりません。元請も下請け会社も期間社員を正社員化し、安全に万全を期すべきです。

技能向上望めぬ短期雇用

「せっかく仕事を覚えても長く勤められない。期間社員は、絶えず雇い止めの不安にさらされ、また結婚もできない低賃金に苦しんでいます。安心して仕事に打ち込めてこそ、技術の習得・工夫・伝承も向上・改善・発明も生まれます。期間社員の正社員化が必要です。人件費削減と利益を至上とする経営が今日の経済危機を引き起こしました。いま勇気を持ってこれを見直すべきです。労働者を大切にす

る経営に転換してこそ、将来の飛躍が望めるのではないのでしょうか。



042-451-0472 解雇 更新打切り 正社員にしてくれない あきらめず電話を(相談無料・秘密厳守)

重工産業労働組合 明るい職場と平和をめざす IHI 連総会 【09年7月】〒653-0036 神戸市長田区腕塚町 2-1-26 神戸平和と労働会館(内)tel&fax 078-611-3114